

からだを育てる夏休みのすすめ

梅雨があけると 暑い暑い夏がやってきます。夏休み、同じように宿題をするなら、

「ちょっと工夫」ができるヒントです。

「どうしても姿勢がくずれちゃう」「勉強がうまくいかない」「なんだかすぐ「トラブル」...

といった(笑)お悩み。困った... (は、担任との面談だけでなく、教育相談でも聞け

ますので、ぜひ(笑)チャンスにつながる機会にしてくださいね。お待ちしております。

漢字ノートを丁寧^{ていねい}に書くと (笑) 漢字ノートの宿題、よく「丁寧^{ていねい}に」と

先生たちは指導^{しどう}をします。中学校や高校では、「ていねいにかく」指導^{しどう}は

(ほとんどありません(笑)小学校と比べて)。それはなぜかという、手で文字

を書くことで「覚える」運動学習^{うんどうがくしゅう}があるからです。運動学習^{うんどうがくしゅう}のコツ

は、同じ運動^{うんどう}をくり返すことです。書いた文字の開きやきれいさが一定と

いうことが「カギ」になります。つまり、丁寧^{ていねい}に書く、ということが「字開きが揃う」

ことになります。

また、「正しい持ち方」は、感覚^{かんかく}が一番^{いちばん}

鋭い指^{ゆび}の先で鉛筆^{えんぴつ}を支えるので。

「動きの感覚」も伝わりやすくなるんですね。

プラスアルファ 10分の工夫^{くふう} もちろん、書いて覚えるのが「苦手^{にくて}」な

タイプな人もいます。握り方が強すぎる/弱すぎる人は、指^{ゆび}がき

もおスス。書く時に座るのが苦^{くる}しくなりがちな人は、高^{たか}めのテーブルで

立^たって書く、(笑)エアクションで体をゆらしながら書くと集中しやすくなる

人もいます。せっかく書くなら自分に合った方法^{ほうほう}だと、がんばりやすくなりそうです(笑)

漢字を

- レベル① 自分がよめる字
- レベル② 他の人もよめる字
- レベル③ 自分にとってめっちゃていねい

【書く文字の丁寧レベル】

指^{ゆび}がき